



2024年11月8日

各位

会社名 オーミケンシ株式会社  
代表者名 取締役社長 高口 彰  
(コード番号 3111 東証スタンダード市場)  
問合せ先 取締役管理部長 大野 泰由  
(TEL 06-6205-7300)

## 業績予想の修正並びに営業外損失、特別利益及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2024年5月10日に公表した2025年3月期通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。また、2025年3月期中間連結会計期間において、営業外損失、特別利益及び特別損失を計上いたしましたので、併せてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 連結業績予想の修正

(1) 2025年3月期通期連結業績予想数値の修正(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり当 期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,500	百万円 300	百万円 50	百万円 1,100	円 銭 163.32
今回修正予想(B)	3,300	250	30	500	72.24
増減額(B-A)	△200	△50	△20	△600	
増減率(%)	△5.7	△16.7	△40.0	△54.5	
(ご参考)前期実績 (2024年3月期)	3,027	△67	△44	△2,417	△366.52

#### (2) 差異の理由

中国での景気減速の継続等による中国販売の不振や原燃料価格の高騰等に伴うコスト面の上昇が想定以上に長期化し販売面・利益面共に苦戦が続いており、売上高、営業利益は当初予想を下回る見込みです。また経常利益も同様に当初予想を下回る見込みですが、有利子負債の減少に伴う金融収支の改善他により営業利益に比べて下がり幅が小さくなる見込みです。また親会社株主に帰属する当期純利益は下記特別損失の計上等により当初予想を下回る見込みです。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因により、実際の業績が予想値と異なる場合があります。

#### 2. 営業外損失(為替差損)の計上について

昨今の為替相場の変動に伴い、当第2四半期連結会計期間(2024年7月1日～2024年9月30日)において主に当社が保有する外貨建て債権の洗い替え他による為替差損30百万円を営業外損失に計上いたしました。なお、第1四半期連結会計期間(2024年4月1日～2024年6月30日)において15百万円の為替差益を計上しているため、当中間連結会計期間(2024年4月1日～2024年9月30日)においては15百万円の為替差損となりました。

#### 3. 特別利益(固定資産売却益)の計上について

2023年9月28日付開示資料「固定資産の譲渡及び特別利益(固定資産売却益)の計上見込みに関するお知らせ」で公表した兵庫県加古川市の加古川工場における固定資産の譲渡が当第2四半期連結会計期間において無事完了し1,251百万円の固定資産売却益を特別利益に計上いたしました。なお、同開示資料では固定資産売却益1,320百万円の見込みとしておりましたが、当初想定した以上に造成工事が長引き追加の工事費用の発生等により69百万円の減額となりました。

4. 特別損失（減損損失）の計上について

上記3の固定資産の譲渡が無事完了した事を契機に、加古川工場における全ての不動産について今後の活用見込み・回収可能性等を再度検討し、当第2四半期連結会計期間において遊休地等の帳簿価額を回収可能価額に減額し当該減少額385百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

5. 特別損失（事業撤退損）の計上について

第1四半期連結会計期間において事業再構築策の推進に伴う費用(化粧品事業の一部撤退損)他合計175百万円を事業撤退損として特別損失に計上いたしましたが、当第2四半期連結会計期間において更に事業再構築策の推進に伴う費用(加古川工場のコンクリート殻処分費用等や化粧品事業の一部撤退損)他合計105百万円を事業撤退損として特別損失に追加計上し、当中間連結会計期間では280百万円となりました。

以 上